

八雲町役場庁舎等建設工事基本設計業務公募型プロポーザル講評

本プロポーザルに係るプレゼンテーションは、八雲町役場庁舎等建設基本計画掲げるコンセプトや基本方針に、災害対策拠点機能の強化や町民の利便性の向上、省エネやバリアフリーへの対応等やその他の独自提案を含めたテーマに基づき、5者による創造性豊かな技術提案をいただきました。

技術提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの中で、焦点が当てられたのは、構造体の種類、耐震工法の種類、人の動線、町民等との繋がり（利用・協働）、敷地の有効活用方法、町民が憩い、集う場所として、多くの方に利用される庁舎の考え方、ランニングコストなどのライフサイクルコスト、ZEBへの取組などにおける建築的な考え方、脱炭素社会の実現に向け、自然エネルギーを活用した環境に配慮した庁舎の考え方、そして平常時と災害時におけるフェーズフリーの視点をもった防災機能の考え方でした。

5者の提案内容には、これらの考え方がさまざまに盛り込まれており、選定委員が、的確性や独創性、実現性などの視点に基づき審査するうえでの大きなポイントでもありました。

また、大規模災害の発生時に備え、指揮系統の中心となる災害対策本部などの防災機能を備えた庁舎や周辺敷地の一部を災害支援エリアとする一方で、日常の庁舎及び周辺敷地の利活用では、窓口での住民サービスの提供に加え、町民が憩い、集う場所として、多くの方に利用される庁舎の考え方について、全ての技術提案者から提案をいただきました。

選定委員会は、5者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施後、第1次審査の評価と合わせ最終的な評価を行い、各テーマに対する技術提案について、本基本計画等の内容を十分に理解し、将来を見据えた具体的かつ意欲的な提案と履行体制により確実な設計業務が期待できる技術提案者を最優秀（受注候補者）として選定いたしました。

優秀者（次点者）を含めたその他の提案者からも、八雲町らしさあふれる独創的で優れたご提案をいただきましたが、その中でも、最優秀者については、多くの町民がより気軽に訪れ、快適に過ごすことができる空間づくりなど、訪れたくなり憩い・交流の場となる庁舎の考え方、また、建物と周辺環境が調和した効果的で実現性の高い敷地の活用方法と施設配置などの提案内容が特に優れていたため、最も高く評価される結果となりました。